

四半期報告書

(第17期第2四半期)

自 平成27年7月1日

至 平成27年9月30日

株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング

東京都新宿区新宿五丁目17番18号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 5
- (7) 議決権の状況 5

2 役員等の状況 5

第4 経理の状況 6

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 7
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 9
 - 四半期連結損益計算書 9
 - 四半期連結包括利益計算書 10
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 11

2 その他 14

第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月12日
【四半期会計期間】	第17期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング
【英訳名】	NEWTON FINANCIAL CONSULTING, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山岸 英樹
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿五丁目17番18号
【電話番号】	03-6233-0300
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 山縣 正則
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿五丁目17番18号
【電話番号】	03-6233-0352
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 山縣 正則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第16期 第2四半期累計期間	第17期 第2四半期連結 累計期間	第16期
会計期間		自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高	(千円)	5,909,232	14,612,741	16,766,736
経常利益	(千円)	1,191,783	1,997,956	3,052,304
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	(千円)	686,083	1,038,095	1,566,280
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	—	1,174,242	1,699,484
純資産額	(千円)	7,923,204	9,200,518	9,723,457
総資産額	(千円)	9,799,572	26,400,652	27,783,751
1株当たり四半期（当期）純利益金額	(円)	35.91	54.33	81.97
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額	(円)	—	54.20	81.19
自己資本比率	(%)	80.9	33.2	32.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	493,534	1,610,551	2,588,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△47,491	1,306,533	△12,209,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△6,459	△1,798,046	9,574,841
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	(千円)	7,584,042	8,217,019	7,097,985

回次		第16期 第2四半期会計期間	第17期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自平成26年7月1日 至平成26年9月30日	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	29.14	41.38

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 当社は、第16期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、第16期第2四半期連結累計期間に代えて、第16期第2四半期累計期間について記載しております。
4. 「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期（当期）純利益」を「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」としてしております。
5. 当社は平成27年8月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。
6. 第16期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び関係会社）が営む事業内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社は前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の緩やかな改善による底堅い回復基調が見られる一方、新興国等の景気減速の影響や円安に伴う輸入原材料や生活物価の上昇等が影響し、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような中、当社グループは、期初に入社した新卒社員の教育・研修を行うことによる生産性の向上、比較サイト、店舗及びコールセンターによる販売網の連携強化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が14,612,741千円、営業利益が1,954,354千円、経常利益が1,997,956千円、税金等調整前四半期純利益が1,974,232千円、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,038,095千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<保険サービス事業>

保険サービス事業におきましては、コールセンター・店舗・WEB・訪問の4つのチャンネルを通じて、保険募集活動を行っております。コールセンターの陣容拡大に伴う収益向上に加え、店舗・WEB・訪問との販売網の連携強化に注力いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の保険サービス事業の売上高は9,063,751千円、営業利益は1,536,234千円となりました。

<派遣事業>

派遣事業におきましては、派遣先企業へ保険募集活動を行う従業員を派遣しております。派遣人員の質を高めることにより、独自の顧客リストを豊富に保持している企業の新規開拓や、既存派遣先企業での収益率の向上に注力いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の派遣事業の売上高は2,785,628千円、営業利益は618,780千円となりました。

<ITサービス事業>

ITサービス事業は、㈱ウェブクルーが行う保険、引越し、車買取りなどの分野で運用する一括見積もり・資料請求サイト「保険スクエアbang!自動車保険」「ズバット引越し比較」「ズバット車買取比較」を中心とした顧客情報提供サービスであります。当第2四半期連結累計期間のITサービス事業の売上高は2,265,898千円、営業利益は131,607千円となりました。

(2) 財政状態の分析

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減
	千円	千円	千円
総資産	27,783,751	26,400,652	△1,383,098
負債	18,060,294	17,200,134	△860,160
純資産	9,723,457	9,200,518	△522,938

総資産は、受取手形及び売掛金の減少、投資有価証券の売却及びのれんの償却等により、前連結会計年度末に比べて1,383,098千円減少の26,400,652千円となりました。

負債は、社債の償還等により、前連結会計年度末に比べて860,160千円減少の17,200,134千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び連結子会社株式の追加取得による資本剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べて522,938千円減少の9,200,518千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、8,217,019千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1,974,232千円となったこと等により、1,610,551千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が1,620,000千円となったこと等により、1,306,533千円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出が1,318,484千円となったこと等により、1,798,046千円の支出となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	76,428,000
計	76,428,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数 (株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	19,107,000	19,107,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	19,107,000	19,107,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	12,738,000	19,107,000	—	2,237,667	—	2,137,341

(注) 平成27年8月1日付をもって普通株式1株につき3株の割合で株式分割し、発行済株式総数が12,738,000株増加しております。

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1丁目4-10	13,184,700	69.00
SBIホールディングス株式会社	東京都港区六本木1丁目6-1	1,068,000	5.59
SBIビービー・モバイル投資事業有限 責任組合	東京都港区六本木1丁目6-1	1,038,000	5.43
SBI・NEOテクノロジーA投資事業 有限責任組合	東京都港区六本木1丁目6-1	648,000	3.39
SBIライフサイエンス・テクノロジー 投資事業有限責任組合	東京都港区六本木1丁目6-1	510,000	2.67
SBIライフサイエンス・テクノロジー 2号投資事業有限責任組合	東京都港区六本木1丁目6-1	336,000	1.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	309,400	1.62
SBIセレクトティブ・ターゲット投資事 業有限責任組合	東京都港区六本木1丁目6-1	192,000	1.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会 社 (信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	174,400	0.91
増田 利光	静岡県焼津市	167,900	0.88
計	—	17,628,400	92.26

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	309,400株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	174,400株

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 19,106,400	191,064	—
単元未満株式	普通株式 600	—	(注) 2
発行済株式総数	19,107,000	—	—
総株主の議決権	—	191,064	—

(注) 1. 平成27年8月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割しております。

2. 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式72株が含まれております。

② 【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、当社は前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報は記載しておりません。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,198,007	8,317,051
受取手形及び売掛金	3,286,863	3,070,840
その他	822,659	765,917
貸倒引当金	△3,322	△2,385
流動資産合計	11,304,208	12,151,423
固定資産		
有形固定資産	1,151,141	1,189,355
無形固定資産		
のれん	10,390,291	9,642,885
その他	127,217	105,342
無形固定資産合計	10,517,508	9,748,227
投資その他の資産		
投資有価証券	3,126,445	1,584,230
その他	1,895,129	1,755,547
貸倒引当金	△210,680	△28,131
投資その他の資産合計	4,810,893	3,311,645
固定資産合計	16,479,543	14,249,229
資産合計	27,783,751	26,400,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	106,398	179,000
1年内返済予定の長期借入金	1,473,923	1,290,732
1年内償還予定の社債	1,596,000	86,000
未払金	2,349,996	1,819,119
未払法人税等	927,012	846,330
役員賞与引当金	60,000	19,500
賞与引当金	497,479	617,220
解約調整引当金	197,620	246,412
その他	783,604	622,789
流動負債合計	7,992,034	5,727,105
固定負債		
長期借入金	9,391,170	10,700,338
役員退職慰労引当金	84,056	92,585
退職給付に係る負債	205,970	220,258
その他	387,062	459,847
固定負債合計	10,068,260	11,473,029
負債合計	18,060,294	17,200,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,237,667	2,237,667
資本剰余金	2,137,341	1,187,868
利益剰余金	4,580,754	5,314,912
自己株式	△82	△82
株主資本合計	8,955,680	8,740,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△125	11,179
退職給付に係る調整累計額	768	439
その他の包括利益累計額合計	642	11,619
新株予約権	34,231	46,665
非支配株主持分	732,903	401,868
純資産合計	9,723,457	9,200,518
負債純資産合計	27,783,751	26,400,652

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	14,612,741
売上原価	7,585,196
売上総利益	7,027,544
販売費及び一般管理費	※ 5,073,190
営業利益	1,954,354
営業外収益	
受取配当金	6,768
持分法による投資利益	57,435
助成金収入	18,593
その他	29,626
営業外収益合計	112,423
営業外費用	
支払利息	46,756
その他	22,064
営業外費用合計	68,821
経常利益	1,997,956
特別利益	
固定資産売却益	80
子会社株式売却益	6,948
特別利益合計	7,028
特別損失	
固定資産除売却損	12,987
社債償還損	15,793
その他	1,970
特別損失合計	30,751
税金等調整前四半期純利益	1,974,232
法人税、住民税及び事業税	818,350
法人税等調整額	△6,883
法人税等合計	811,466
四半期純利益	1,162,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	124,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,038,095

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
四半期純利益	1,162,766
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	11,890
退職給付に係る調整額	△414
その他の包括利益合計	11,475
四半期包括利益	1,174,242
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049,071
非支配株主に係る四半期包括利益	125,170

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,974,232
減価償却費	165,196
のれん償却額	623,665
賞与引当金の増減額 (△は減少)	119,729
解約調整引当金の増減額 (△は減少)	48,792
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△163,208
受取利息及び受取配当金	△8,028
支払利息	46,756
持分法による投資損益 (△は益)	△57,435
社債償還損	15,793
固定資産除売却損益 (△は益)	12,907
売上債権の増減額 (△は増加)	224,065
未払金の増減額 (△は減少)	△625,945
その他	189,787
小計	2,566,310
利息及び配当金の受取額	7,691
利息の支払額	△51,009
法人税等の支払額	△912,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,610,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△222,135
無形固定資産の取得による支出	△16,760
投資有価証券の売却による収入	1,620,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	130,528
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△131,811
敷金及び保証金の差入による支出	△84,702
敷金及び保証金の回収による収入	26,225
その他	△14,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,306,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	791,000
短期借入金の返済による支出	△794,398
長期借入れによる収入	2,030,000
長期借入金の返済による支出	△771,523
社債の償還による支出	△1,568,793
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,318,484
配当金の支払額	△127,308
その他	△38,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,798,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,119,034
現金及び現金同等物の期首残高	7,097,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 8,217,019

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、(株)オネストビジネスコンサルティングは株式の取得により、連結の範囲に加えております。

中央引越センター(株)は株式の売却により、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、のれん177,957千円及び資本剰余金1,399千円が減少するとともに、利益剰余金が176,557千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ32,826千円増加しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
給与	817,559千円
広告宣伝費	1,637,063
役員賞与引当金繰入額	19,500
賞与引当金繰入額	152,171
役員退職慰労引当金繰入額	9,008
退職給付費用	29,613

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
現金及び預金勘定	8,317,051千円
担保に供している定期預金	△100,031
現金及び現金同等物	8,217,019

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月19日 取締役会	普通株式	127,379	20	平成27年3月31 日	平成27年6月10 日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(3) 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年7月15日付で、連結子会社㈱ウェブクルーの株式を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が948,034千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,187,868千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	保険サービス 事業	派遣事業	ITサービス 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,063,751	2,785,628	2,050,886	13,900,267	712,474	14,612,741	—	14,612,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	215,011	215,011	858,357	1,073,369	△1,073,369	—
計	9,063,751	2,785,628	2,265,898	14,115,278	1,570,832	15,686,110	△1,073,369	14,612,741
セグメント利益	1,536,234	618,780	131,607	2,286,623	102,278	2,388,901	△434,547	1,954,354

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△434,547千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	54円33銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1, 038, 095
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1, 038, 095
普通株式の期中平均株式数 (株)	19, 106, 928
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	54円20銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	△2, 530
(うち連結子会社の潜在株式による調整額 (千円))	(△2, 530)
普通株式増加数 (株)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—

(注) 当社は平成27年 8 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月12日

株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大谷 秋洋 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土屋 光輝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティングの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月12日
【会社名】	株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング
【英訳名】	NEWTON FINANCIAL CONSULTING, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山岸 英樹
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿五丁目17番18号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役 山岸 英樹は、当社の第17期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。